

Vietnamese/East Asian customs. One change is the architectural styles of their houses. As in other Southeast Asian countries, their houses used to be built 1-2 meters above ground, but approximately 50 years ago they changed to the East Asian style, which uses bricks on the ground to make walls. The greeting styles also underwent changes. The Khmer Krom used to put their palms together whenever they met somebody on the street, but after the end of the Indochina War 25 years ago, this custom disappeared.

A lot can be learned about Southeast Asia through the study of the Khmer Krom.

[Notes]

the Khmer Krom 古代、メコン・デルタがクメール民族の領土であったところからそこに住みついているクメール系少数民族。クメールはカンボジア、カンボジア人、クロムとはカンボジア語で「低い、低地」、つまり低地クメール人という意味。90万人。インド文化圏としての文化を継承しながら最近、中国文化圏の文化を取り入れてきている。Yunnan province 雲南省（中国）
Mahāyāna [mā:həjā:nə] 大乘仏教。中国や日本にまで分布している北伝仏教。紀元前後ごろインドに起った進歩派の仏教。自分たちだけのためだけでなく在家者のためにも修行し、利他中心の立場をとる。尼僧をも認める。scripture 仏典、経典 **Theravāda** [θeravāda] 上座部、小乗仏教。保守派の南伝仏教。仏滅後100年ごろに仏教教団が保守的な小乗仏教と進歩的な大乘仏教に分かれた。仏教の本流と自認している。大乘仏教よりも戒や修行が厳しい。たとえ相手が国王であっても、釈迦ではないという理由で合掌しない。尼僧を認めない。Pali パーリ語。釈迦が仏教の説法をするのに用いた古代インド語の1つ。サンスクリット語を標準語とすれば、パーリ語は俗語といえる。上座仏教の経典語で、現在スリランカ、タイ、ミャンマー、カンボジア、ラオスなどの仏教用語として用いられている。altar 祭壇 Śākyamuni 釈迦牟尼、シャカ（前463～383頃）。姓はゴータマ、名はシッダールタ。釈迦牟尼とは、釈迦族出身の聖者の意味。王子として生まれながら婆羅門を批判して出家、仏教の教えを立てた。